

あかし

特集
不明熱



医学的な不明熱とは？

医学的な不明熱とはなんですか。

1961年に^{ピーターズドルフ}Petersdorfらによる不明熱の定義では「38.3℃を超える発熱が3週間を超えて持続し、1週間の入院精査で原因が分からない発熱」とし、感染症・膠原病、悪性腫瘍を3大原因としました。その後^{デュラック}Durackらが、3回の外来診療または3日間の入院診療で原因不明のものを古典的不明熱と再定義し、院内不明熱、好中球減少性不明熱、HIV関連不明熱を追加しました。

01 古典的不明熱

- ①3週間以上持続する発熱
- ②38.3℃(101°F)以上の発熱が経過中に複数回見られる
- ③3回の外来受診あるいは3日間の入院精査でも原因不明
- 〔主な原因〕感染症・悪性腫瘍・自己免疫疾患

02 院内不明熱

- ①入院後24時間以上経過してからの発熱
- ②38.3℃(101°F)以上の発熱が経過中に複数回見られる
- ③3日間の入院精査でも原因不明
- ④48時間の培養検査陰性
- 〔主な原因〕医療関連感染・術後合併症・薬剤

03 好中球減少性不明熱

- ①3日間以上持続する発熱
- ②38.3℃(101°F)以上の発熱が経過中に複数回見られる
- ③好中球500/ μ l以下
- ④3日間の精査でも原因不明
- ⑤48時間の培養検査陰性
- 〔主な原因〕細菌・真菌(アスペルギルスなど)・ウイルス(ヘルペスなど)

04 HIV関連不明熱

- ①38.3℃(101°F)以上の発熱が経過中に複数回見られる
- ②発熱期間は外来で4週以上、入院で3日以上
- ③3日間の精査でも原因不明
- ④48時間の培養検査陰性
- 〔主な原因〕HIV・抗酸菌・サイトメガロウイルス・トキソプラズマ・クリプトコッカス・免疫再構築症候群

上記の38.3℃以上というのは病的な「発熱」と、「高体温」を分ける意味合いだと私は理解しています。微熱というのはあいまいなものです。日本だと37℃以上くらいで微熱を主訴に受診する人が多いでしょうか。風邪などによる微熱も多いですが、習慣性高体温という病的ではない体温の日内変動を呈しているだけの人もいます。習慣性高体温とは若い人に多く見られ、明らかな原因(病気)がなく倦怠感くらいの症状で37℃程の体温が続く状態です(特に午後・夕方以降に体温が高い)。おそらくはそういったものを除外する目的での「38.3℃」なのでしょう。

では、不明熱の原因はどんなものが多いのでしょうか。セティング(外来患者なのか入院中の患者なのか初診あるいは紹介受診なのかetc.)にもよりますが、感染症、膠原病、悪性腫瘍がトップ3です。それで大体6割強を占めているという報告があります。他に薬剤性などありますが、残りは原因不明です。原因不明の不明熱って不明すぎると思います。が……。いかに鑑別疾患(考えられる病気のリスト)を挙げるかが肝なんじゃないかな。

特集 不明熱

内科 武田大樹 医師

診察日・受付時間

月曜・金曜 / 8:00 ~ 11:30
火曜 / 13:00 ~ 16:30

不明熱とは？

「不明熱」をご存知でしょうか。医療従事者なら聞いたことがあるかもしれませんが、一般の方には知らないかもしれません。不明熱は英語の頭文字をとってFUO(fever of unknown origin)なんて呼ばれます。FUO(未確認飛行物体)みたいなものです。FUOもUFOも原因(正体)が判明すれば不明(未確認)でなくなる点では似ています。長い文章を読みたくない人のために今回の話を以下に簡潔にまとめます。



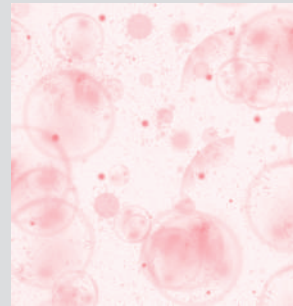
- ・不明熱(古典的不明熱)とは3週間以上続く38.3℃以上の発熱で、3回以上の外来受診あるいは3日以上入院精査でも原因不明の発熱のこと。
- ・不明熱の原因としては感染症、膠原病、悪性腫瘍が多い。
- ・臨床検査も必要になるが、病歴・身体診察が重要である。
- ・発熱以外の症状が重要で、全身状態が許せば経過をみる待ちの姿勢が大事。
- ・治療には必ずしも抗菌薬(抗生物質)を使うわけではない。



不明熱の原因疾患の例

「感染症」

- ・結核（粟粒結核、肺外結核など）
- ・感染性心内膜炎
- ・肝臓腫
- ・骨盤内臓腫
- ・その他の腹腔内臓腫
- ・膿胸
- ・前立腺炎
- ・EBV
- ・CMV
- ・HIV感染症
- ・歯根膿腫
- ・偽膜性腸炎



「膠原病」

- ・成人スチル病
- ・リウマチ性多発筋痛症
- ・大動脈炎症候群
- ・血管炎
- ・全身性エリテマトーデス
- ・関節リウマチ（高齡発症）
- ・サルコイドーシス
- ・ウエゲナー肉芽腫症
- ・菊池病



「悪性腫瘍」

- ・非ホジキンリンパ腫
- ・ホジキン病
- ・腎がん
- ・白血病
- ・骨髄増殖性疾患
- ・肝臓がん
- ・大腸がん
- ・膵がん



正直なところ熱だけだと診断できないです。年齢やその他のバイタル（血圧・脈など）、そして一番大事なのは病歴・身体診察だと思います。病歴については根掘り葉掘り警察の尋問の如く聞くこともあります（カツ井はでません）が勘弁して下さい。身体診察は頭から爪先まですべて診察するのが理想です（昨今、婦人科領域は婦人科に見てもらったほうが無難かもしれません）。そして検査に移ります。患者さんや我々医師も検査してほしい。したい衝動に駆られます。大事なのは何を疑って（何を目的に）その検査をするかだと思います。闇雲に検査を行うと余計に訳が分からなくなりますし、経済的にも身体的にも痛い思いをします（一般的な採血や胸部レントゲンくらいはルーチンに行っても良いと思います）。その結果も考慮して鑑別疾患を絞り込んでいくことになります。

治療について

治療は原因疾患により異なります。発熱の原因としては感染症が多いので、抗菌薬（抗生剤）を使いたくなります。しかし抗菌薬は感染症にしか効かないですし、感染症のなかでも細菌にしか効かないのです。風邪のウィルスや最近話題のコロナウィルスにももちろん効きません。抗菌薬で腸炎を起こしてそれで熱がでるといった場合もあるので無闇矢鱈に使うのはやめたほうがよいです。ぱっと見て早期に対応が必要な患者さんには早めに介入し、「まだ待てそうだな」という患者さんに対しては待ちの姿勢で望むことが肝要と感じます。最初の方で述べた古典的不明熱の定義の①ですね。3週間くら



いは様子見ませんかということですが（状態が悪くなってくるときには受診してもらいます）。自然によくなることも多々ありますし、経過を見ている最中に他の症状などのヒントが出てくる可能性があるのであります。ただすべての病気には重症化しやすい人がいて、そういった人は注意して観察・介入する必要があります。

重症化リスクの高い人

新生児、高齢者
免疫不全患者（エイズ、免疫抑制剤・ステロイド使用中）
慢性呼吸器疾患患者（喘息や肺気腫など）
慢性心臓病患者
腎不全・透析患者
etc.



最後に

いかがでしたでしょうか。不明熱や発熱について多少なり得るものがあつたら幸甚に存じます。発熱について困ったことや心配があれば、御相談いただければ少しはお役に立てることもあるかと思ひます。



人間ドックのお知らせ

船は長い航海へ船出する前に必ずドックへ入ることが義務付けられています。私たちも長い人生の途中でどこか悪いところはないか、健康状態を定期的に点検する必要があるのではないのでしょうか。高血圧症、糖尿病、脂質異常症等生活習慣病と言われる病気が年々増加傾向にあります。こんな時、予防や早期発見の観点から人間ドックをおすすめします。

当センターの特色として、仕事でお忙しい方やゆっくりお食事が出来ない方々のために町商工会のご協力のもと商工会加盟店7店でご利用いただける食事割引券を発行しております。

皆様の健康管理のために是非当センターの人間ドックをご利用ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止対策への励ましのメッセージをいただきました

5月25日に中畑小学校の児童より応援メッセージをいただきました。

児童達からの感謝や励ましの言葉を受け、今後とも職員一同新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて尽力していく所存です。



いただいたメッセージは外来棟待合室に掲示してあります。

消防訓練



リハビリテーション棟3階で深夜2時に火災が発生した事を想定して消防訓練を実施しました。人員の少ない状況下でいかに迅速かつ丁寧に患者さんを避難させるかに重点を置いて行いました。

ご寄附をいただき、ありがとうございました。

2020年6月 戸倉蓉子様

当法人の活動に対しご理解とご賛同をいただき、ご支援を賜りたく存じます。

寄附金には、税法上の優遇措置が適用されます。詳しくは、ホームページをご覧ください。

【ホームページ】 <http://aida-hp.or.jp/aboutus/donation/>



NEWS (お知らせ) × INFO (情報) × EVENT (行事)

PPE 着脱研修



今回の感染対策研修会は、部署ごとに个人防护具の着脱研修を行いました。着脱者・補助者・確認者と分かれ、配信された着脱動画を確認しながら行いました。新型コロナウイルス感染症が広がる中、職員の意識も高まったようです。

看護部新人研修



新人の看護職4名、介護職2名が入職しました。4月1日から医療安全や感染対策、看護・介護技術研修を実施しています。患者様へ安全に実践できるように、基礎的な内容を講義や演習で学びました。

BLS 研修 ～命を繋ぐために～

BLSという言葉聞いたことがあるでしょうか？

一次救命処置といい、不運にも突然心臓や呼吸が止まってしまった方に対して行う蘇生処置のことを指します。

当院では、一次救命処置関連の資格を持っているスタッフを中心に、毎年一次救命処置についての講習を全職員に対して行なっています。

繰り返し継続して行うことで、一人ひとりが質の高い心肺蘇生を行えるようになります。

医療従事者として、入院中の方をはじめ来院される全ての方に万一のことがあった場合に、そこに居合わせた人全てが命を繋ぐための一員となれるよう、これからも研鑽を続けて行きます。





AIDA no HITO

当院の栄養科は、4名の管理栄養士が在籍しています。業務の内容として、入院患者様の食事提供を含めた栄養管理、入院時・外来での栄養指導、他にも各種チーム活動や教室開催において、患者様へ栄養の面からのサポートに努めています。

皆さんは「栄養指導」と聞くとどんなイメージをお持ちですか？ 厳しい・難しいなどのイメージを抱く方もいらっしゃると思いますが、患者様のライフスタイルに合わせて1日の摂取目安量や食べ方のコツ・調理方法など無理なく続けて頂ける内容で具体的な指導を行っています。

また入院中の治療食の内容は、退院してからも続けて頂けるよう家庭で食べられている様なメニューを取り入れながら、減塩等の工夫をし、委託会社と協働で教育の一環としての食事提供を心掛けています。

その他に入院中にも季節を感じて

🔍 スタッフ募集中

共に働くスタッフを募集しています。地域に根ざし、愛され、心が通う病院づくりに積極的に取り組み、地域社会に貢献したいと思っています。募集内容は当院ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ】人事・経理課
 【電話】0248-42-2121
 【メールアドレス】ahp@aida-hp.or.jp
 【ホームページ】
<http://aida-hp.or.jp/recruit/>



患者様に寄り添った 栄養科での関わり

栄養科
管理栄養士

小滝 菜々香

頂く為、旬の食材使用を意識し月に1〜2回の行事食提供や、イベント食を実施し、通所リハビリテーションでも実演調理等のイベントを定期的に行い、毎日の食事に変化を加え、食欲UPへ向け工夫をしております。

栄養科では患者様に寄り添った医療の提供を心掛け、安心して入院・退院後の生活を送って頂けるよう、取り組んで参ります。お気軽にお声かけください。

行事食紹介

お品書き

端午の節句

- ・チキンライス
- ・ミックスグリン
- ・ハムとアスパラのサラダ
- ・メロン



5月1日に「端午の節句」のお祝いとしてチキンライスなど子供の頃を思い出すようなメニューを提供しました。端午の節句は菖蒲の節句とも呼ばれ、男子の健やかな成長を祈願し各種の行事を行う風習があると言われています。患者様からは、「チキンライス美味しかった。季節感があって楽しめました。」と感想を頂きました。

お品書き

父の日

- ・ご飯
- ・そら豆のかき揚げ
- ・海老と鱈の天ぷら
- ・抹茶塩
- ・フキと高野豆腐の含め煮
- ・オクラの梅肉添え
- ・ビールゼリー（りんご味）



6月12日「父の日」、夏のおつまみにぴったりの「そら豆のかき揚げ」やビールに見立てたりんご味の「ビールゼリー」を提供しました。患者様からは、「ビールかと思ってびっくりした。甘くて、美味しい。めずらしいね!」など好評でした。皆さんも、お父さんへ日頃の感謝の気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか？

連携機関探訪

あつうみ内科医院

こんにちはあつうみ内科医院の厚海徹です。当院は118号線を石川方面に向かう途中、左折すると玉川村役場に向かう信号機のある十字路に面しています。

私は平成元年に福島県立医科大学を卒業し、第一内科に入局しました。主に循環器科を専門にしながら、消化器科・呼吸器科・血液内科を研修しました。その後、大学で内科認定医・専門医、循環器専門医、医学博士号を取得し、平成11年に須賀川病院に赴任し、平成13年10月に近隣である玉川村に開業しました。村には医療機関が味原医院と当院しかなく、子供からお年寄りまで診察し、簡単な外科的処置を行い、心エコー、腹部エコー、胃カメラなどの検査、予防接種、往診など多岐にわたる診療を行っています。また、開業後より漢方の有用性に気づき、3年ほど個人的に東京に毎月講習会に通い、日本東洋医学学会に入会し試験を受け、漢方専門医を平成19年に取得しました。西洋医学のみでは効果が現れない患者さんに喜ばれています。

会田病院さんには、消化器内科や耳鼻咽喉科の患者さんを主に紹介しており、入院の必要な方も快く患者さんを引き受けてくださり、感謝しております。貴院は地域医療の要であり、連携医療機関である当院も貢献してゆきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



INFORMATION

診療科目	内科、消化器科、循環器科、小児科						
所在地	〒963-6312 福島県石川郡玉川村大字小高中畷18-1						
連絡先	TEL 0247-37-1544						
診療時間 休診日：日・祝	月	火	水	木	金	土	日
8:00~12:00	●	●	●	●	●	●	
14:30~18:00	●	●		●	●		



1日5分、身体喜ぶ贅沢タイム

皆さんこんにちは。今回は悩んでいる方が多い坐骨神経痛のストレッチを紹介します。ストレッチで少しでも痛みが軽減してもらえれば幸いです。時間のある時にお試ください。

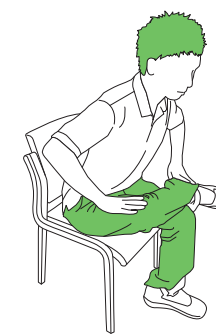


理学療法士

坐骨神経痛のストレッチ

方法 1

- ① 痛みのある方の足を上にして足を組みます。
- ② 太ももの裏が伸びるよう体を倒していきます。
- ③ 腰が引けないように、胸を張ったまま倒すのがポイントです。



方法 2

- ① 仰向けになり片方の足首を反対の膝の上に乗せます。
- ② 両手で太腿の裏に手を組みます。
- ③ お尻の後ろが伸びるように引きます。



のぞいてみよう！

健診センター はこんなところ！

こんにちは、健診センターです。健診センターは健康診断を行う部署です。皆さんは「健診」と「検診」の違いについてわかりますか？色んな所や場面で見える字ですが、意外と説明が出来ない方が多いと思います。「健診」は、そのもの健康診断の略です。会社で行なう定期健診、生活習慣病健診、住民健診などです。「検診」は、特定の病気を探するための検査です。乳がん検診、子宮がん検診などです。

最近では定期健診や住民健診の代わりとして人間ドックコースを希望する企業様や個人の方も増加しております。近年、健康志向の方が増加しており様々な検査をオプションで行われる受診者様も増加しております。

また、病気（発病）を未然に防ぐ目的として特定保健指導があります。管理栄養士や保健師による栄養指導や生活指導も行っております。食生活や生活習慣の改善により生活習慣病を予防する目的としてアドバイスも行っております。

これからも予防医療の観点から地域住民の健康を守るべくスタフ一丸となって尽力してまいります。



健診センター



会田病院の理念

かけがえのない、ひとり一人の命と
健康を守るために、最良の医療を提供し、
保健・医療・介護・福祉の充実をはかり、
地域社会に貢献します。

公益財団法人 会田病院

理事長 会田 征彦

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地

☎ **0248-42-2121** 

FAX 0248-42-2348 WEB aida-hp.or.jp

併設 健診センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
TEL 0248-42-3592 FAX 0248-42-2226

併設 すみれ訪問看護ステーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-44-2566 (FAX兼)

併設 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-5407 (FAX兼)

併設 すみれ介護相談センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-3755 FAX 0248-42-3781

併設 会田病院ヘルパーサービス

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-2305 (FAX兼)

併設 会田通所リハビリテーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町260番地
TEL 0248-42-2260 FAX 0248-42-2135



無料送迎バスのご案内

会田病院では、ご自宅と病院を無料でつなぐ送迎バスを運行しています。ご予約は下記までお気軽にお電話ください。

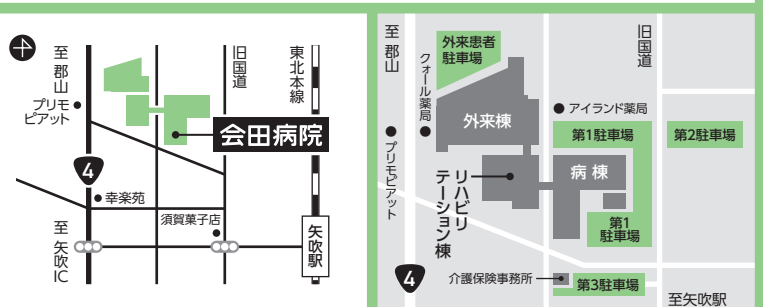
ご予約時間 月～金 13:00～16:30 | 土 9:00～12:00

ご予約はコチラ **0248-42-2142**

① ご予約は送迎前日の午後4時30分までをお願いします。

② 乗車時間はご指定いただけません。

アクセスと駐車場のご案内



外来診療担当について

外来診療担当は、当院のホームページにてご確認ください。院内で配布している「外来診療担当のご案内」をご覧ください。

[ホームページ]
<http://aida-hp.or.jp/attending/>



ご意見ご感想を募集中です

「あゆり」に関するご意見、ご感想を募集しております。特集してほしい内容や改善ポイントなど内容は問いません。宛先は下記の通りです。

[宛先] 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
公益財団法人会田病院 広報編集委員会
[メールアドレス] ahp@aida-hp.or.jp



当院は公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」審査の結果、機構が定める認定基準に達成していることが認められ、2017年3月3日付けで機能種別版評価項目 3rdG:Ver.1.1 の認定を受けました。

[発行] 公益財団法人会田病院
[編集] 広報編集委員会
[発行日] 2020年7月15日